

大阪市立

視覚

特別支援学校

タイトル(テーマ)

VoiceOverを設定したら、
iPhoneやiPadでメールや電話ができた！

視覚 No 4 号

平成

27年 3月 20日

対象の児童生徒

小学・中学・高等 部 全学 年

困り感

・全盲のため、タッチパネル操作ができない。

取り組みの内容・授業の様子等

☆児童・生徒は、個々に手元のiPadやiPhoneのアクセシビリティでVoiceOverを設定するということで、自分で操作をすることができる。

- 使用アプリ：メール，電話
- 準備物：iPadもしくはiPhone 1台、WiFi環境
- 事前準備：Wi-Fi等インターネット環境でVoiceOverを設定する。
- 活用方法：コミュニケーションの手段にもなり、墨字文書の漢字の勉強にもなる。

◎実際の活用例：

・対象学年…高等部、教科…自立活動

・活用後の感想…**友達が使っているのと同じiPhoneやiPadを使うことができてうれしかった。**
友達とのコミュニケーションや連絡の手段が増えた。
墨字文書を作るときの漢字変換の勉強にもなった。

電話



成果と今後の課題

- ・友達と同じものを使えることが一番うれしかった。
- ・生徒のタブレットへの関心が高まった。
- ・携帯電話ではできない、他のアプリを使って生活が便利になることを感じた。
- ・音声聞き取りづらいことがある。
- ・アプリによってはvoiceoverが使えないものがある。